

総括評価シート

大阪市立田川小学校

1. 学校教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもを育てる。

2. 重点目標

生きる力を育てる学校づくりに努める。

①【学力を育てる】 ②【心を育てる】 ③【生活力を育てる】 ④【体力を育てる】

3. 評価項目の達成状況

評価項目	達成状況	評価の理由
(1)学校経営の重点	2. 6	道徳を中心とした研究授業や模擬授業によって、言語力育成や話し合い活動の充実等、指導法の改善を図ることができた。また、道徳による心の教育と学級活動での話し合いにより、以前より他人の気持ちを考え、自分の思いを表現できるようになった。
(2)学習指導の重点	2. 7	個に応じた指導法や話し合い活動のある授業を行うことができた。学年に応じた課題の与え方を工夫し、家庭学習の習慣づけを行った。
(3)生活指導の重点	2. 6	あいさつ強調週間によって意識は高まったが、日常生活の中で自然にあいさつできるところまでには至っていない。廊下を走ることの危険性を指導しているが、すぐに意識が低くなる。
(4)保健管理・指導の重点	2. 7	保健指導や委員会活動により健康面に対する意識は高まってきた。小中連携による体育の研修により、指導力を高めることができた。
(5)研修の重点	2. 8	全学年で道徳の研究授業を行うことにより、指導力の向上に役立った。模擬授業や検証授業等の実践的な研修をすることができた。
(6)今日的な課題 (心の教育・言葉の教育)	2. 4	話し方の指導によって筋道を立てて話せる児童が増えた。相手の気持ちを考えながらしっかり話を聞けるように継続指導が必要である。

4：十分できた 3：概ねできた 2：もう少し 1：できていない

4. 次年度への改善点

- (1)課題克服に向けて学校全体の共通理解と家庭との連携を進め、点検活動を取り入れた継続指導と指導方法の工夫を図る。
- (2)教材・教具を整備し、使いやすくする。授業の進め方の共通理解を図る。
- (3)あいさつの意義の指導の工夫と、家庭への啓発。規範意識の醸成に向けて視覚的な訴え。
- (4)継続的な指導と、家庭への啓発の工夫。個人で評価させる。点検活動と表彰・報告の場の設定。
- (5)若手教員向けの参観授業・模擬授業の計画的な位置づけ。
- (6)授業や学級会などさまざまな機会を活かした計画的なコミュニケーション能力や態度の育成。